



©2005 石塚真一/小学館

第 160 号(令和元年 8 月 26 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ 特別隊員 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

8 月 3 週は、14 件の遭難が発生しました。遭難の態様としては下山中の転倒が 8 件、疲労による行動不能が 3 件ありました。下山中の転倒の多くはいわゆる危険箇所ではなく、一般登山道上での発生がほとんどです。浮石によるバランス崩し、砂利でのスリップ、岩や木の根でのつまづきなどが直接的な要因となっています。一般登山道でも岩や木の根が露出している場合が多く、そのような場所での転倒は大ケガにつながります。せっかくの登山も下山中にケガをしまえば台無しになってしまいます。下山時こそ慎重に一步一步確実に行動しましょう。

平成 31 年中の山岳遭難発生状況(平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 8 月 18 日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
平成 31 年・令和元年	192	15	5	114	76	210	134
平成 30 年	195	23	3	101	90	217	127
前年同期比	-3	-8	+2	+13	-14	-7	+7
内)BC	+6	±0	±0	+1	+9	+10	+1
内)山菜採り	-1	+1	+2	±0	-4	-1	+3

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	28	14.6%	3		19	6	28
	後立山	54	28.1%	3		36	21	60
	その他	36	18.8%	2		29	7	38
	計	118	61.5%	8	0	84	34	126
中央アルプス	15	7.8%	4		8	3	15	
南アルプス	3	1.6%		2		2	4	
八ヶ岳連峰	17	8.9%	1		10	7	18	
その他の山岳	39	20.3%	2	3	12	30	47	
計	192		15	5	114	76	210	

態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	70	36.5%	8		62		70
転倒	46	24.0%	1		45		46
病気	4	2.1%				4	4
道迷い	32	16.7%		1		47	48
落石	1	0.5%			1		1
雪崩	4	2.1%	1		3		4
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	14	7.3%				14	14
不明・他	21	10.9%	5	4	3	11	23
計	192		15	5	114	76	210

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19歳以下			1	1	2	36 24.2%			1	1	2	10 16.4%	4	46人 21.9%	
20代	2		1	9	12					2	2				14
30代	1		12	9	22				4	2	6				28
40代	4		17	13	34	61	2		5	5	12	26	46	87人	
50代	2		22	3	27	40.9%	1		12	1	14	42.6%	41	41.4%	
60代		1	16	10	27	52			8	6	14	25	41	77人	
70以上	3	3	11	8	25	34.9%		1	4	6	11	41.0%	36	36.7%	
計	12	4	80	53	149		3	1	34	23	61		210		
比率	71.0%						29.0%								

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
8月13日	北アルプス 白馬鑓ヶ岳	67	女	転倒	負傷	仲間と6人で白馬鑓ヶ岳から下山中、転倒、負傷
12日、北アルプス白馬鑓ヶ岳において、女性67歳が、転倒して負傷する山岳遭難が発生し、13日、救助要請を受け、県警ヘリで救助しました。						
8月13日	北アルプス 北穂高岳	58	男	転倒	負傷	単独で北穂高岳から涸沢へ向けて下山中、転倒、負傷
13日、北アルプス北穂高岳において、男性58歳が、滑落して負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリで救助しました。						
8月14日	北アルプス 北穂高岳	55	女	滑落	負傷	単独で北穂高岳から南岳へ向けて、大キレットを下降中、滑落、負傷
14日、北アルプス北穂高岳において、女性55歳が、滑落して負傷する山岳遭難が発生し、松本署山岳遭難救助隊、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊が救助しました。						
8月14日	北アルプス 槍ヶ岳北鎌尾根	43	男	疲労	無事救出	単独で北鎌尾根を登山中、疲労及び体調不良により行動不能
14日、北アルプス槍ヶ岳において、男性43歳が、体調不良のため行動不能となる山岳遭難が発生し、大町署山岳遭難救助隊が救助しました。						
8月14日	北アルプス 唐松岳八方尾根	51	男	転倒	負傷	家族と八方尾根を下山中、転倒、負傷
14日、北アルプス唐松岳において、男性51歳が、足を負傷する山岳遭難が発生し、大町署山岳遭難救助隊、長野県山岳遭難防止対策協会夏山常駐パトロール隊、北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会救助隊が救助しました。						
8月14日	北アルプス 常念岳	35	男	疲労	無事救出	単独で常念岳へ向けて登山中、疲労及び体調不良により行動不能
14日、北アルプス常念岳において、男性35歳が、体調不良により行動不能となる山岳遭難が発生し、山岳遭難防止対策協会救助隊が救助しました。						
8月14日	北アルプス 白馬岳	74	女	疲労	無事救出	仲間と6人で白馬岳から下山中、疲労により行動不能
14日、北アルプス白馬岳において、女性74歳が、体調不良のため行動不能となる山岳遭難が発生し、大町署山岳遭難救助隊、長野県山岳遭難防止対策協会夏山常駐パトロール隊、北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会救助隊が救助しました。						
8月16日	南アルプス 塩見岳～ 仙丈ヶ岳 周辺一帯	77	男	不明	行方不明	7月28日に山小屋を出発して、単独で塩見岳から仙丈ヶ岳方面に登山に向かったまま、以後、行方不明となっているもの(8月16日届出)

7月28日から南アルプス塩見岳に向けて入山した男性77歳が行方不明となっており、捜索をしています。						
8月17日	北アルプス 前穂高岳 東壁	41	男	滑落	死亡	仲間2名と前穂高岳東壁を下降中、滑落
17日、北アルプス前穂高岳で男性が滑落する山岳遭難が発生し、18日、滑落した男性41歳を発見しましたが、死亡が確認されました。						
8月18日	北アルプス 小蓮華岳	66	男	転倒	負傷	家族と2人で小蓮華山から下山中、転倒、負傷
18日、北アルプス小蓮華山において、男性66歳が転倒して負傷する山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						
8月18日	北アルプス 針ノ木岳	50	女	転倒	負傷	仲間4人と針ノ木岳から下山中、転倒、負傷
19日、北アルプス針ノ木岳において、女性50歳が転倒して負傷する山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						
8月18日	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	60	女			
18日、中央アルプス木曾駒ヶ岳において、女性60歳が足を負傷する山岳遭難が発生し、駒ヶ根署員及び中央アルプス地区山岳遭難防止対策協会救助隊が救助しました。						
8月18日	八ヶ岳連峰 蓼科山	35	男	転倒	負傷	仲間と2人で山頂から下山中、バランスを崩し、転倒、負傷
18日、八ヶ岳連峰蓼科山において、男性35歳が転倒して負傷する山岳遭難が発生し、茅野署山岳遭難救助隊及び諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊が救助しました。						
8月18日	北アルプス 唐松岳	60	女	転倒	負傷	単独で八方尾根を下山中、転倒、負傷
18日、北アルプス唐松岳において、女性60歳が転倒して負傷する山岳遭難が発生し、長野県山岳遭難防止対策協会夏山常駐パトロール隊、北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会救助隊、大町署山岳遭難救助隊が救助しました。						

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jpまでお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝